

# 尾張北部医療圏における救急医療・周産期医療の問題点等把握のための調査

## 調査票 1(救急医療)

### (注意事項)

この調査票1(救急医療)は、救急告示医療機関(救急告示病院・診療所、2次、3次救急病院も含まれます。)及び休日(平日夜間)急病診療所用の調査票です。

### (提出期限)

平成22年12月20日(月)

### (提出先)

春日井保健所総務企画課

(調査票と一緒にお渡しした返信用封筒を使ってください。)

### ここからご記入ください。

(記入者)後日、詳しくお聞きする場合がありますので必ずご記入ください。

医療機関名 \_\_\_\_\_

職 種(医師、看護師等の別) \_\_\_\_\_

従事する診療科 \_\_\_\_\_

役職名(役職者の場合) \_\_\_\_\_

氏 名 \_\_\_\_\_

※救急分野での通算経験年数(うち現在の勤務先での経験年数) \_\_\_\_\_

年( \_\_\_\_\_

年) \_\_\_\_\_

(※は休日(平日夜間)急病診療所の管理者の場合は記入する必要はありません。)

### (設問1)

現在の救急医療体制は、1次救急医療、2次救急医療、3次救急医療を担う各医療機関が患者の重症度・緊急度に応じて対応することを想定していますが、この体制についてお聞きします。

以下の各質問について、該当する項目にチェックをいれ、必要に応じてその内容をお書きください。

- ① 1次救急医療の役割を、「軽症患者の診療・2次救急医療機関へのトリアージを行うこと」と定義した場合、在宅当番医や休日(夜間)急病診療所は1次救急医療を十分に提供できていると思えますか。

十分に提供できている

十分には提供できていない(そう思う理由やその原因、必要な対策等を自由にお書きください。)

[ ]

よく分からない

② 2次救急医療の役割を、「救急搬送患者の受け入れに協力するとともに、1次救急医療機関の後方支援や入院・手術を要する救急患者に医療を提供すること」と定義した場合、救急告示医療機関（輪番制病院、単独で入院医療を提供している病院を含む。）は2次救急医療を十分に提供できていると思いますか。

十分に提供できている

十分には提供できていない(そう思う理由やその原因、必要な対策等を自由にお書きください。)

[ ]

よく分からない

③ 3次救急医療の役割を、「幅広い疾患に対して高度な専門的医療を総合的に実施するとともに、他の医療機関で対応できない重篤患者への医療を担当し、地域の救急患者を最終的に受け入れること」と定義した場合、救命救急センター(=小牧市民病院)は3次救急医療を十分に提供できていると思いますか。

十分に提供できている

十分には提供できていない(そう思う理由やその原因、必要な対策等を自由にお書きください。)

[ ]

よく分からない

④ 救急患者の受け入れ時や他院転送時における救急隊との連携について、現在、貴院が抱えている問題点がありましたら、具体的にお書きください。

問題はない

問題がある(その内容や原因、必要な対策等を自由にお書きください。)

[ ]

よく分からない

- ⑤ 貴院における救急医療提供上(施設、設備、職員の数やスキル、他の医療機関との連携等自院の体制に関する事)の問題点や、救急医療全般に関してご意見等がございましたらお書きください。

[Empty response box for question 5]

(設問2)

入院の必要のない軽症者の救急搬送は約5割程度で、また、小児科では病院の時間外患者で入院を要するのは数パーセントという調査結果がありますが、軽症者が2次、3次の救急医療機関に集中している現状があります。これについてはどういう対策が必要と思うかお書きください。

**(よく分からない場合は空欄のままで結構です。)**

(参考となる対策の例)

- 救急車利用の有料化
- 軽症者の救急車利用を改めるための啓発
- 医師の待遇改善
- 国が医師数を増やす
- 医師が救急医療に従事しやすくするための環境整備(対策)
- 軽症患者からの選定療養費の徴収
- 休日急病診療所の診療時間の延長や診療日の増加
- 小児患者家族の専門医志向を変えるための啓発
- 2次救急病院において開業医が1次救急医療を行う

[Empty response box for question 2]

(設問3)

救急医療体制を考える場合、急性期後の患者の受け入れ先の確保についても併せて考える必要がありますが、これについて、現在、貴院が抱えていらっしゃる問題点がありましたら、具体的にお書きください。**(病床を有する医療機関の医師のみ回答してください。)**

(参考となる意見)

(問題点)

- 満床で救急患者が受け入れられない。
- 重症化した高齢入院患者が、福祉施設、在宅、療養病床のいずれにも行けない場合が増えている。

(対策)

- 救急対応病床を空けるための病院間の連携
- 介護施設等まで含めて自己完結型の医療をせざるを得ない。

問題はない

問題がある(その内容や原因、必要な対策等を自由にお書きください。)

よく分からない

ご協力ありがとうございました。